

3/9 制作

## 神戸市で変異株拡大なぜ

### 「検査増やしたから」

感染力が強いとされる新

型コロナウイルスの変異ウ  
イルスで、神戸市での広が  
りが注目されている。市は  
「2月中旬には感染者の約  
15%を占めていた」と発表  
し、変異株の感染者は全国  
でも多い。市は「検査を多  
く実施する結果、発見も増  
える」と説明。変異株の割  
合は増加傾向にあるとし、そ

検査の充実を訴える。

神戸市環境保健研究所の

発表では、今年1月から2  
月18日までに確認された英  
国型の変異株の感染者は31

人。市内の感染者に占める  
割合は、1月29日～2月4  
日が4・6%、2月5～11  
日は10・5%、2月12～18  
日は15・2%と増えた。

の後も全感染者の5割を占  
める日もあり、増加傾向は  
続く。新規感染者が減る  
中、変異株感染者の濃厚接  
触者を多く検査していると  
いう面はあるが、飯島義雄  
所長は「それだけ感染力が  
強いと考えている」と話す。  
変異株が多く確認されて  
いるのは都道府県別で埼  
玉、兵庫、新潟の順（3月  
5日現在）。神戸市の担当  
者は「神戸で変異株が多く  
出ているのは検査数が多い  
ためで、全国的にも一定の  
割合で広がっているのではないか」と言う。

変異株の検査は、PCR  
検査で陽性になつた検体の  
一部をさらに詳しく調べ  
る。厚生労働省は、全国の地  
方衛生研究所に新規陽性者  
の5～10%程度を調べるよ

う求めた。神戸市環境保健  
研究所は、2月以降、新規陽  
性者の6割を調べている。  
神戸市はPCR検査を任  
せられる民間企業があり、  
同研究所はウイルスの分析  
などに注力してきた。全国  
有数の規模で検査や分析が  
できているという。

神戸市の久元喜造市長は  
1日、「変異株の感染力を  
どう評価するのか、知見は  
地方自治体では得られない。  
国として意見を集め、対応を  
しっかりと示していただきたい」と話した。